

(2行あける)

応用力学シンポジウム講演概要 原稿の作成例

Instruction for A4 Size Camera Ready Copy for Proceedings of Symposium on Applied Mechanics

(1行あける)

土木太郎*・応用花子**

Taro DOBOKU and Hanako OYO

(1行あける)

*工博 土木大学教授 工学部土木工学科 (〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目)

** 工博 建設大学准教授 工学部建設システム工学科 (〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目)

(1行あける)

Key Words: use *Italic*, for key words

(2行あける)

1. タイトル部分のレイアウト

(1行あける)

タイトル部分のフォーマットはこの作成例に従って作成して下さい。和文のタイトル文字には14ポイントの太字を使用します。以下、欧文タイトル、著者名、所属、アブストラクトを上例に従って10ポイントの文字を使用して作成して下さい。また最後に、5個以内のキーワードを英語 (Times New Roman, *Italic*) で列挙して下さい。

(1行あける)

2. 書式

(1行あける)

2.1 本文・見出し

書式はこの作成例と同一の形式で2ページ・2段書きを原則とします。本文に用いる文字サイズは、10ポイント (MS明朝, Times New Roman) とします。

章の見出しは11ポイントの太字 (2. 章の見出し) とし、見出しの上下に1行のスペースを空けます。節・項の見出しは10ポイントの太字 (2.1. 節の見出し, (1) 項の見出し) を使用して下さい。節の見出しは上だけに1行スペースを空けますが、項の見出しには特にスペースを開けません。

(1行あける)

2.2. 数式

数式や数学記号は次の式(1)

$$G = \sum_{n=0}^{\infty} b_n(t) \quad (1)$$

のように本文と独立している場合でも、 C_D , $\alpha(z)$ のように文章の中に出てくる場合でも同じ数式用のフォントを用いて作成します。数式はセンタリングし、式番号は括弧書きで右詰めになります。

2.3. 図および表

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページにおき、直接本文中に描画することを原則とします。図表の横

幅は、「2段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表-1や図-2のように「1段の幅いっぱい」のいずれかとなります。図表の幅を1段幅以下にして図表の横に本文テキストを配置することはやめて下さい。

図は、例えば **Fig.3** とし、図のタイトルとともに図の下に表示して下さい。表は、例えば **Table 2** とし、表のタイトルとともに表の上に表示して下さい。図表のタイトルに用いる文字サイズは、10ポイント (MS明朝, Times New Roman) とし、図表番号のみ10ポイントの太字を使用して下さい。図表と文章本体との間には1~2行程度の空白を空けて区別を明確にします。

(1行あける)

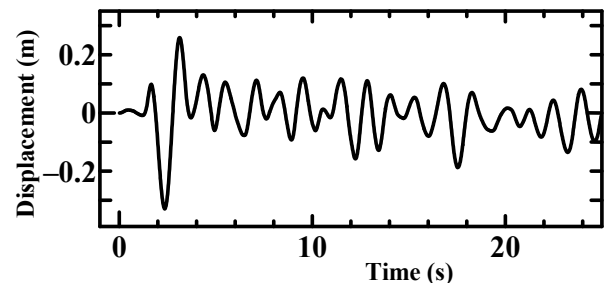


Fig.3 図の作成例

(1行あける)

3. ページ番号など

(1行あける)

ページ番号は記載せず、またヘッダ部分は空白のままにしてください。

(1行あける)

参考文献

- 1) Dafalias, Y. F. and Popov, E. P.: A model of nonlinear hardening loading, *Acta Mecha.*, Vol.21, pp.173-192, 1975.
- 2) Y. C. ファン (大橋義夫, 村上澄男, 神谷紀生共訳) : 固体の力学/理論, 培風館, 1970.
- 3) 土木工事, 建設一郎: 脆性材料の構成則モデル, 土木学会論文集, No.1000/I-777, pp.1-11, 1999.